

第7回 介護職のための医療的ケア研修

*今年度から京都市身体障害者リハビリセンター主管で実施されます。 <2014' 11/23 医ケアネット事務局>

<よびかけ>

医療的ケアの一部法制化から3年目を迎えました。医療的ケアは、それぞれの人の身体の状態、病気、医療機器に違いがあり、ケアの内容や方法も一律ではありません。また、医療の都合だけでその方の生活を定めるのではなく、地域で生きていくことを選んだ人とたちの人生を支えるという役割があります。個別性と関係性が重要であるとの考え方で第3号研修（特定の者）ができたのです。

医療的ケアの研修は、それぞれの方に合わせた内容を、当事者・家族・訪問看護師・主治医などから学ぶことが必要です。この研修では、第3号研修では不十分な、医療的ケアの基本である歴史・理念、医療的ケアには含まれない援助方法、緊急対応やリスクマネジメント、そして、実技研修を行います。

●この研修は、京都府第3号研修とは異なりますので、認定や資格証の交付は行いません。

▽第1回 2014年12月6日（土） 10:00～16:30（受付9:30）

▽第2回 2015年2月21日（土） 10:00～16:30（受付9:30）

●両日とも同じ講義・講師・実技研修を行います。

申込締切 ①12月1日（月） ②2015年2月17日（金）ただし、定員になり次第、締め切ります。

対 象 京都市内の障害保健福祉関係の事業所、保育、教育関係で医療的ケアに従事されている方、従事する可能性のある方。（京都市内にお住いの方、京都市内にお勤めの方が対象になります。）

定 員 各回 先着50名（参加費無料）

主催・申込先 京都市身体障害者リハビリセンター 地域リハビリテーション推進係（担当：太田）

<講義内容>

受付 9:30

挨拶 10:00 医療的ケア研修にあたって（京都市身体障害者リハビリセンター1階研修室）

①講義 10:10-11:10（60分） 医療的ケアを必要とする人の支援と研修

講師 篠原文浩（NPO 法人医療的ケアネット理事）

*当事者との個別性と関係性が必須。研修のあり方を具体的な研修の開催方法を踏まえて考えます。

②講義 11:10-12:10（60分） 医療的ケアのリスクマネジメント

講師 出島 直（民医連京都中央病院小児科医師・NPO 法人医療的ケアネット理事）

*医療的ケアを必要としている人のリスクや緊急事態について基本的な学習を行う。

③グループ実習 13:10-14:50（100分） さまざまな医療的ケア

*受講者が直面している問題を持ち寄り、互いの工夫について交流し、見直す機会とする。問題提起が少ない場合は、基本行為の復習の場とする。

*1グループ10人×5グループ×まあちゃん5人……講師 医師1～2名、看護師5名

★受講申込み時に、医療的ケアに関して困っていること、研修したいことを書いていただきます。

④講義 14:50-16:30（100分） 医療的ケアの理念と今後

講師 杉本健郎（NPO 法人医療的ケアネット理事長・すぎもとボーン・クリニック）

*一部法制化に至る歴史と現状を踏まえて、医療的ケアの基本的なあり方について考えます。